



friendship force  
NARA

# 2012 Annual Report

## 意欲的に革新への第一歩を踏み出した年

2012 年度年間総括

大西 弘

2012 年度は2度の受入れ（オーストラリアとカナダ）とグルジアへの渡航に加えて、広島での世界大会という大きなイベントが行われ、特別に意義深い年となりました。

一方、年初に極めて意欲的な挑戦目標を掲げ、積極的な取り組みをした結果、目標に向かって着実に前進しつつあるという実感の得られた年でもあったと思います。

中でも、課題を残しながらも、会報誌の印刷を原則年一回とし、ホームページの充実による迅速な情報提供を図るという革新的なコミュニケーションの第一歩を踏み出した事は特筆に値します。

一方、留学生のホームステイ受入れと交流を中心とする地域社会への貢献活動も少しずつ根付き始めたと言えるでしょう。また、グループ活動もそれぞれに工夫を凝らしながら、活発に楽しく活動を続けており、奈良クラブの活力の源泉となっています。

年一回の懇親旅行も一つの新しい傾向として定着化した感があります。さらに「英語で奈良をガイド」の小冊子を作成し、多くの会員が積極的に自らガイドする事に挑戦するようになった事も画期的な出来事でした。

奈良に新たな活動拠点を設けるという目標は実現出来ませんでしたが、過去に蒔いた種が少しずつ芽を吹き出す兆しが見え始めています。

2013 年度への新たな希望の見える有意義な一年でした。



## Contents

- オーストラリア Gold Coast Club 受入れ
- グルジア Tbilisi Club へ渡航
- カナダ Manitoba Club 受入れ
- 第 35 回 FF 世界大会 広島





## 2012年度新役員

会長	大西弘
副会長	内田堯子
事務局	佐々木啓子、樋室富佐子（新）
会計	山足和生
イベント	河村ひとみ、中森恭子（新）、内田堯子（兼）
手作り	西野博子、高尾ハツ子（新）、畑廣子（新）
広報	浅田喜美子
交流	青木照子、藤井英雄（新）
英会話	阪井敏江
監査	仮家正剛



## 2012 年度活動計画

- 1 月 29 日 総会・新年会
- 3 月 4 日 WFD(ワールドフレンドシップデー)
- 5 月 9 日～ 豪・Gold Coast Club 受入れ
- 6 月 2 日 中部ブロック会議
- 6 月 13 日～ グルジア渡航
- 10 月 19 日～ カナダ Manitoba Club 受入れ
- 10 月 30 日 世界大会



## ポットラックとゲームで新春初笑い

総会の後はお待ちかねの新年会。今年もポットラックの豪華なお料理が出揃って、この日ばかりはダイエットはお休み。あれもこれもと旺盛な食欲を満たすひととき静かな時間が終わると、爆発したように大声と笑いの渦。紙テープが切れたら失格の電車ごっこ、お手玉や輪投げのゲーム、頭脳ゲームのタングラム、グループで描き加えて完成？させる創作迷画（写真下）などなど、遊び上手もわがFF奈良の特技です。





## 3/4 World Friendship Day

### 作って、食べて、寿司パーティー

今年の第6回ワールド・フрендシップ・デーは、日本の伝統食「すしづくり」で、交流を深めようという企画でした。

3月4日(日)11時、「リーバー王寺」5Fの調理室に集まったのは、FF会員43名、ゲスト32名の75名。ゲストは、3日後に中国へ帰国する留学生10名をはじめ日本在住のイギリス、オーストラリア、中国、台湾などの方たち。みんなでわいわい、お寿司を作って、食べて、おしゃべりを楽しみました。

「帰国直前に、また一つ、すばらしい日本最後の思い出ができました。親切な日本の方たち、日本の文化、美味しい日本食に心打たれました。母国へ帰りましたら、微力ながら日中のかけ橋の一つになれたらと思っています」・・・留学生とは思えない流暢な日本語と、にじみ出る親日感情のスピーチに私たちは感動しました。



「日本のお寿司大好き。いっぱいもらっちゃいました」と、満足そうな二つの顔が語っています。



英国紳士もこの日は板前見習い。カリフォルニアロールに挑戦です。

#### ★ 作った寿司

- ・カリフォルニアロール
- ・巻きすし
- ・てまりすし
- ・めはりすし
- ・箱すし
- ・ちらしすし
- ・いなりすし

- ・のっぺい汁
- ・白玉ぜんざい



## 4/17~19 カナダ Greater Hamilton & Burlington Club をアテンド

京都 奈良 3日間 名残りの春をたっぷり



日本の2クラブにステイし、京都・奈良の観光を切望したカナダの8名を、4月17~19日の3日間奈良クラブがアテンドしました。

京都は1日目に二条城、錦市場ほか。2日目は清水寺から円山公園、八坂神社へのそぞろ歩き。女性はお買物もしっかり楽しみました。

3日目は奈良へお迎えし、奈良公園を散策。健脚揃いで東大寺や春日大社だけでなく興福寺や浮見堂まで廻って、遅咲きの桜や花吹雪など、日本の古都で名残りの春をたっぷり満喫した様子でした。



当時、東大寺では大仏殿の屋根の修理をするため、屋根瓦の寄進を募っていました。早速応募して、使い慣れない筆で瓦にクラブ名をサインしたJillさん。やがてこれが大仏殿の屋根の1枚になります。

サインと共に書かれたのは

May there be peace on earth.





5/9～18

# オーストラリア Gold Coast Club 受入れ

## 待ち遠しかった出会い

東日本大震災のために1年遅れで今年5月9日、オーストラリア・ゴールドコースト・クラブの25名（男性6名、女性19名）を関西空港に出迎えました。メールのやりとりの期間が長かったせいか、お互いに初対面とは思えない親近感があったようです。

### ★マッチングリスト★

Maureen Miners(ED)	張替 盾男 / 令子(ED)
Bob Barham	河村 秋雄 / ひとみ
Jo Barham	
Viv Caulfield	藤田 欣吾 / 由紀子
Gloria Caulfield	
Borrry Purnell	濱田 良雄 / 延子
Lance Munday	阪井 肇 / 敏江
Margaret Harris	畠中 虎夫 / 愛子
Voni Sutton	樋室 勝之 / 富佐子
Marie Fowler	道上一清 / 恵子
Deirdre Sparrius	吉岡 行雄 / 三枝
Anne Halliday	内田 勝治 / 堯子
Shirley Henley	松本 陽一 / 朱美
Glenis Rann	
Sandra Molloy	仮家 正剛 / 倫子
Patricia Richardson	
Ann Whitbread	小原 幸直 / ひろみ
Gina Franzen	滋井 寛子
Barbara White	
Mary Matchett	大西 弘 / 博美
Marcia Trezise	
Deanna Gupta	合田 勝径 / サワ子
Sam Yakimishyn	
Henk Zervaas	吉川 利文 / 公子
Annette Zervaas	

### ★スケジュール★

- 5/9(水) 関空出迎え
- 5/10(木) 顔合わせ（サンマルク）：日本文化体験（はばたき）
- 5/11(金) 奈良公園（大仏殿、二月堂、春日大社）
- 5/12(土) 自由行動（お茶会、大阪観光など）
- 5/13(日) 歓迎パーティー（はばたき）
- 5/14(月) 京都観光（金閣寺、銀閣寺、三十三間堂）
- 5/15(火) 京都観光（清水寺、三年坂、二年坂、友禅体験）
- 5/16(水) 自由行動
- 5/17(木) 自由行動
- 5/18(金) 見送り（近鉄奈良駅）



サンマルクで顔合わせ

白いうちわに好きな言葉を漢字で書いたり、英語の名前に漢字をあてはめたり、毛筆体験。各々の作品をかざして全員集合となりました。他に、折り紙、きものの着付けなど和気藹々の日本文化体験でした。



ED

張替 令子

Maureen Miners



5/1

## Mixed Group を奈良一日アテンド

全世界対象の Mixed Group が訪日。震災の後遺症（風評被害など）を抱える郡山クラブと初受入れの富士クラブとにステイした後、京都・奈良への来訪を希望されて、5月1日（火）、ED アンドリュー・スターリングさんほか6名（男性2名、女性5名）を、奈良クラブのメンバー7名でアテンドしました。アンバサダー7名の国別は、カナダから3名、アメリカから3名、オーストラリアから1名でした。



郡山クラブで被災地の実態を見てきた一行にとって、奥村記念館にある免震構造の見学や地震装置の体感、予期せぬ興味深い出来事でした。地震体感装置に坐ったアンドリューさんはちょっと緊張気味。





## みんなで英語のガイドを目指した奈良公園散策

今年F F奈良オリジナルの「英語で奈良をガイドする」小冊子が作成され、会員が一人でも多く（最終的には全員が）奈良公園を英語で案内できるよう積極的に取り組むことになりました。誰でもガイドができれば、観光客の多いシーズンでも小グループに分かれて案内ができ、スムーズに行動できます。

今回から何人かがガイドに挑戦、なかには虎の巻を時々見ながらの人も。写真の鹿がくわえている紙は、ガイド見習いの手から食いちぎった「受入れのしおり」。そこには忘れそうな数字や年号がメモってあったのですが。



## フリータイム あれこれ

自由行動の時間をどう過ごすかは、アンバサダーの体調や興味によっていろいろ。いくつかの例を紹介すると――



自宅でこんなにリラックスして、打ち解けたコミュニケーションができれば最高！



滋井邸のお茶会の前に、山里の自然の中で筍堀り。



タヌキで有名な陶器の里・信楽で、作品を見たり、自分で焼いたり、大勢のタヌキに囲まれてみたり。



庶民的大阪南の賑わいで疲れたら、憩いの空間の一つは長居公園。大阪は公式行事に入っていないので、行くならフリーデーに。



大阪北の中心街や中之島を水上から眺めるクルージング。グループで行けば、なお楽しい。

## 手づくりのウェルカムパーティー

驚くほど豊富なご馳走は主に会員手づくり。それだけでなく、余興もお土産もすべて会員の質の高い手づくりで通しました。



京都・金閣寺で

6/2

## 中部ブロック会議

静岡クラブ主催によるF F中部ブロック会議が、6月2日（土）、静岡市内で開かれ、中部各クラブから51名が参加。奈良クラブからは、大西会長、高尾、畑、中森各理事が出席しました。2013年度は、奈良クラブ主催で6月中旬に開かれることになっています。

### 主な討議内容から

- ・最近増えているグローバル・エクスチェンジに対し、「テーマ別」や珍しい地区を訪れる「ディスカバリー」などについての検討（直接FFIに申し込める）と同時に、渡航する多国籍混成チームの問題点が受入れ側に過大な負担をかけないように、FFIに申し入れをしました。
- ・次期FR（フィールド・レップ）に大阪クラブ森本会長を満場一致で承認。現在、奈良クラブ大西会長がFRを任期を超えて5年間務め、交代を要請していました。



6/14～30

## グルジア Tbilisi Club 渡航



## ★マッチングリスト★

アンバサダー	ホストファミリー
大西 弘 大西 博美	Kate Maisashvili
藤田 欣吾 藤田 由紀子	Sofiko lomia
河村 秋男 河村 ひとみ	Bukhrashvili Giorgi
黒崎 力 黒崎 知子	Marina Changiani
青木 俊一 青木 照子	Gochiashvili David
山内 昌雄	Kublashvili Shota
木村 洋子 中森 恭子	Darsavelidze Tamar
濱田 延子 松本 朱美	Ana Changiani
安村 真弓	Oniani Dodo
別所 啓子 浅田 喜美子	Giorgadze Maia



奈良クラブ 18 名はトルコのイスタンブールを経て、6 月 14 日、グルジアの首都トビリシに到着しました。オプションツアーの 1 週間を含め 6 月 30 日までの 17 日間に、この未知の国で予想外のさまざまな初体験をし、不思議な親近感を覚えることになります。

## ★スケジュール★

日付	滞在地	行動予定
6/13		22:30 関空発 TK047
6/14	Tbilisi	5:35 イスタンブール着、16:25 トビリシ着
6/15	Tbilisi	ホームステイ、
6/16	Tbilisi	ホームステイ
6/17	Tbilisi	ホームステイ
6/18	Tbilisi	国会議事堂訪問 Sameba 教会
6/19	Tbilisi	国立博物館 チャリティー・イベント
6/20	Tbilisi	Natakhtari 工場見学 Mtskheta, 観光 フェアウェルパーティー
6/21	Bakuriani	Gori 市観光 Uplistsikhe 洞窟都市跡
6/22	Bakurian	Borjomi 観光 Kharagauli 国立公園
6/23	Kutaisi	Sataflia 自然公園
6/24	Batumi	黒海海岸 Batumi 市内観光
6/25	Batumi	Gonio 要塞跡 Batumi 植物園
6/26	Kazbeki	軍用高速道路 Aragvi 渓谷
6/27	Kazbeki	大コーカサス山脈 Ananuri 要塞, Kazbeki 市内観光
6/28	Istanbul	17:15 トビリシ発、18:45 イスタンブール着
6/29		Bosporus 海峡クルーズ、 グランドバザール 00:50 TK046
6/30		17:55 関空着

6/16～17

## デラウェア大学生 受入れ

急きょ FF 奈良がお引受けすることになった米・デラウェア大学 21 名の学生は、1 泊 2 日で会員 16 名の家庭にホームステイしました。グルジア渡航組が不在中でしたが、ホストの快い協力で心温まる交流ができました。



いずれも日本語を勉強中の学生ですが、レベルはまちまち。中には滞在中ずっと日本語で通じた学生も。



**ホスト** 佐々木啓子、吉岡三枝、西野博子、乾 真理、  
阪井敏江、小西清子、池上世子、合田サワ子、谷口美代子、  
栗原一栄、森井恵治、仮家正剛、小泉くに子、畑廣子、  
大杉真知子、元原江美、





トビリシ市の国会議事堂見学。まもなく第2の都市クタイシへ移転する。



スターリンの生誕地ゴリ市の近くに、BC2000年頃とされる古代洞窟都市跡があり、1万人は住んでいたと考察される。ワインやパンを作った跡も。



ここの原水は命を守る聖水とされていたが、いまはボルジョミ・ブランドのミネラル水として輸出の主要品目。



丘の上の砦址はオスマントルコと戦って大軍を押し返したという武勇伝を持つ。この橋はリオニ川を初めて車が渡った橋。



ロシアとの国境も近く5040mのカズベギ山をはじめ大コーカサス最高峰の山々が頭上に迫る壮大な自然。ここに詩を残したプーシキンもこの絶景に感動をしたのだろう。

トビリシ近郊の飲料工場を見学。良質の水を活用して、ビール6種、レモネード7種を生産し16カ国に輸出している。



ロシアが整備した軍用道路を、羊や牛の群れが悠々とお通りになる間、どんな車も黙って待機。



黒海とカスピ海の間、大小コーカサス山脈に挟まれたグルジアは、北海道の85%ほどの、我々にはほとんど未知の小国だが、気候温暖で豊富な良質の水や鉱山など自給自足の自然環境に恵まれて、6000年の古い歴史を持つ。世界最古のワインはここで生まれた。

しかし、それ故に常に周辺の国から侵略を受け続け、独立国として栄えたのは中世のわずかな期間のみ。近年、ソ連の解体で独立したのは1991年。従って戦いの爪痕がいまだに残っていたり、停電や断水があったり、インフラをはじめすべてにまだまだ発展途上。

それでもここに住む人々のほとんどが敬虔なグルジア正教徒で、歴史への誇りと愛国心を持ち、その穏やかな気質と精神文化が日本人の我々に不思議なほど好感と親近感を呼び起こす。ED・Kateの献身的なアテンドで、グルジアの豊かな自然と人情に浸る2週間を過ごすことができた。



世界最大級のバツミ植物園で。中央がEDのKate



黒海が赤く染まる夕焼け時にバツミ市に到着。海に石を投げたり小学唱歌を歌ったり、童心に返ったひととき。

クタイシ市の世界遺産ゲラティ修道院。グルジア最盛期の12世紀に、学術・信仰の中心として建設された。



## 7/14~15 奈良産業大 留学生受入れ

1泊2日で奈良産業大学の夏季留学生21名(男性8名、女性13名)を受入れました。台湾ピントン科学技術大学(7名)、香港シティ大学(8名)、青島理工大学(6名)の学生たち。

### ホスト

乾 真理、森井恵治、山敷典輝、河村ひとみ、合田サワ子、滋井寛子、畠中愛子、仮家正剛、樋室富佐子、中森恭子、井上久仁子、筒井岳英、

日本の食べ物に興味を持っている学生が多く、たこ焼き、お好み焼きは人気メニュー。





# 10/21～29

# カナダ Manitoba Club 受入れ

## “もう一度マニトバへ迎えたい！”

2009年に渡航したカナダのマニトバから、Return Exchangeで19名（男性6名、女性13名）が10月21日奈良へ到着。実際は再会メンバーが少なく、日本についていろいろと聞かされてきた予備知識も“聞くと見るとは大違い”。カルチャーショックに加え、日本人のキメ細かなもてなしにいたく感動、「ぜひ、もう一度マニトバへお迎えしたい」という提案も飛び出しました。10月29日、大西会長、中森 ED 同伴で奈良を出発したアンバサダー一行は、広島で開かれた FF 世界大会に参加。そこで奈良の参加者とまた再会することになります。



伊丹空港に降り立ったマニトバクラブの一行。

### 日本文化体験

着物を豊富に準備して選んでももらいました。華麗に勢揃いしたカナダのお姫様！男性たちもすっかり侍気分です。今回はアクセサリー作りなどの手作り体験も。



### フェアウエルパーティーで

手に手にイラストを持って、ご当地マニトバを紹介する絵と替え歌のパフォーマンス。

★マッチングリスト★	
Barbara Main (ED)	中森 恭子(ED)
Dallas Bagby	大西 弘 / 博美
Bernard Dyck	
Donald Greig	阪井 肇 / 敏江
Sheila Shearer	
Diana Hansell	濱田 良雄 / 延子
Dinae Schipper	
Rechard C. Hansell	木村 久志 / 洋子
Kathryn Hansell	
Rick Klimack	合田 勝径 / サワ子
Martha Klimack	
Beverley Philips	滋井 寛子
Brenda Koch-Schulte	
Jean Hyrich	青木 俊一 / 照子
Lawrence Lesyk	田中 暉英 / 隆子
Kathryn Lesyk	
Clare Mckenty	仮家 正剛 / 倫子
Esther G. Mckenty	
Myma Rourke	松本 陽一 / 朱美



ED

Barbara Main / 中森 恭子

### ★スケジュール★

- 10/21 伊丹出迎え
- 10/22 自由行動
- 10/23 顔合わせ（サンマルク）  
日本文化体験（はばたき）
- 10/24 奈良公園（大仏殿、二月堂、春日大社）
- 10/25 京都（金閣寺・竜安寺・嵐山）  
＜ロイヤルパークホテル泊＞
- 10/26 京都（清水寺・ショッピング）
- 10/27 サヨナラパーティー（春日野荘）
- 10/28 自由行動
- 10/29 見送り→チャーターバスで広島へ



京都・清水寺で



22日のフリーデーにアンバサダー全員が滋井邸へ押しかけ、柿狩り、バーベキュー、お茶会を楽しみました。



10/31~11/2

# 第35回 FF世界大会 広島

2012年10月31日（水）～11月2日（金）の3日間、FFの世界大会が広島で行われました。奈良クラブからは大西会長、内田副会長、佐々木事務局長、河村理事、中森理事の合計5名が全プログラムに参加、それ以外に21名がガラパーティーに参加しました。

原爆を被った広島を舞台に、「平和と友情」をテーマとした今回の第35回世界大会には、世界28ヵ国から総勢450名が参加し、成功裡に予定を無事終了しました。日本での開催という事もあり、日本の各クラブから約270名の人達が参加する一大イベントとなりました。



Creating a  
World of Friends  
that becomes a  
World of Peace

## 大西会長が 2分科会で プレゼンテーション

世界大会のプログラムの中でかなり重要な位置を占めるワークショップは2日間にわたり、17分科会に分かれて、極めて幅広い分野からテーマが取り上げられました。それぞれの分科会ごとに2名または3名のゲストスピーカーがプレゼンテーションを行ない、発表後の質疑応答も活発に交わされました。



英語圏の発表者が多い中で、奈良クラブの大西会長は2日間にわたって以下の2つのテーマについて発表し、たいへん好評でした。

●「クラブの成長戦略」New Strategies for Club Growth(1日目)  
グループ活動の導入により、アクティブメンバーが80%に至り、会の結  
束と活性化、質の向上に貢献した経緯。

●「独自の受入れプログラム」New Hosting Program(2日目)  
京都観光の“中抜き”受入れプログラムの利点と提案。

## 世界平和の祈り

広島平和記念公園の原爆死没者慰霊碑に献花する G. ブラウン FFI 会長と森川 F F 広島会長。



## Gala Party

国際色豊かな交流に、奈良の後発組21名も到着。



## ★プログラム★

- 10/31 am 地元高校生による和太鼓で開幕  
(水) 広島県副知事による歓迎の挨拶  
FFI 理事 余村とこ氏の挨拶  
Sherry Mueller 女史基調演説  
pm 9分科会によるワークショップ
- 11/1 am 広島市副市長の挨拶  
(木) 広島ク森川会長の原爆体験特別講演  
Steven Leeper 氏の原爆問題特別講演  
pm 8分科会によるワークショップ  
原爆体験記朗読  
平和公園・記念館・灯籠流し ツアー
- 11/2 am 日本舞踊披露に引き続いて閉会式  
(金) pm オプショナル ツアー  
ガラパーティー



私たちの折った千羽鶴も世界平和の祈りに加わりました。



こも樽の上蓋を勢いよく割る日本伝統の鏡開きで開宴。歌に踊りに、言葉の壁はありません。



## イベント

### 行事あるところ、我がプロダクションあり

イベントグループの活動は受入れ時の歓迎パーティー、日本文化体験、新年会、ワールド・フрендシップ・デー（W.F.D.）等々の公式イベントの立案・実施の他に、ハイキングの企画、懇親旅行時のイベント企画など多岐にわたりますが、2012 年度も行事が相次ぎ多忙な一年でした。W.F.D は毎年料理をテーマにした交流が好評ですが、今回の寿司パーティーは特に喜ばれました。受入れの歓迎パーティーはポットラック形式とホテルでの夕食会形式の二つを試みましたが、経費面と労力面で一長一短、意見が分かれました。

ハイキングは3回実施しましたが、留学生や在留外国人の参加もあり、いずれも20名を大きく上回る参加で極めて盛況でした。

Happy Girls は新しい会員も加わり、今後レパートリーも増やしたいと思っています。



受入れに欠かせない Happy Girls のパフォーマンス。メンバーも増えて、うまくなって、プロの迫力で踊る「アジアの海賊」。



ロシア渡航の時のモスクワクラブのED、ナターシャが来日。4月5日、いっしょにお花見ハイキングに行きました。背割り堤の桜は、開花がおくれている3分咲き。でもナターシャは250本の花のトンネルに感動。岩清水八幡宮の竹林にも感動してしきりに写真を撮っていました。参加24名。

9月14日、大和三山に囲まれた本薬師寺跡の休耕田に咲き誇るホテイアオイを見に行きました。そこで歌を詠む人、絵を描く人。そこから歩いておふさ観音の庭園の茶房で昼食。午後は今井町を散策。江戸時代に栄えた当時の風情を残し、国の重要文化財は9件。

「称念寺」、惣年寄の筆頭の民家「今西家」など見学。参加31名。



12月1日、紅葉に染まる室生寺へハイキング。この日はMariaと留学生3人が参加。世界でも独特と言われる日本の里山の錦を満喫しました。参加27名



## 交流

### 在留外国人との交流を推進

従来から交流グループが中心に推進してきた月例会の活性化は「おしゃべりタイム」の導入などである程度定着化し高い出席率を保っています。

一方留学生や在留外国人との交流推進に関しても、奈良産業大学留学生の受入れや、ハイキング、WFDなどイベントグループの企画行事への参加呼びかけで、在留外国人との交流も徐々に定着化してきました。2012年度は郡山高校のALT（外国語指導助手）のMariaさんとの交流やアメリカのデラウェア大学の学生達の受入れなどもあり、今後、地域社会へ貢献の一環としても、これらの活動をさらに推進していきたいと思います。



Mariaさんが12月例会で、「日本でのサブライズ体験」や「来日前と後で日本の印象がどう変わったか」などをプレゼンテーション。Mariaさんはこの日までに、カラオケやハイキングにも参加されています。

## 英会話教室

### 高い受講率 会員同士の親近感も深まって

現在マーチン先生の2クラスとジェシカ先生の4クラスの合計6クラスで会員全体の43%にあたる34名の会員が毎週1回のレッスンを受けていますが、受講者の英会話能力の向上という目的以外に、毎週顔を合わせる事で会員同士の親近感が深まり、例会その他の行事への参加率向上にもつながっていると思われ、FF奈良にとっても欠かす事のできない重要な活動になっています。



## 手づくり

### 忙しく、楽しく、スキルアップ

いまや20名を超える大世帯、毎月1回手弁当で集まって、楽しみながら制作に励んでいます。今年は、受入れが2回あったので、アンバサダーに人気のお土産定番「角香箱」も例年よりたくさん作りました。また11月に広島で開催された世界大会には5品種50点（ネックレス、ピエロ、折り紙、竹とんぼ、切手シート）を制作して、協力しました。

一方、外国へのお土産ばかりでなく、国内やクラブ内のバザー向きに、ティーポットカバーやトートバッグなど、実用的な作品を制作し、春秋のバザーで会員の方たちにも多数お買い上げいただき、クラブ運営資金の一助として貢献しました。牛乳の空きパック36枚で作る「椅子」は今年の新しい作品です。

2013年度は奈良で中部ブロック会議が開かれますが、かつて同会議で手づくりグループの活動を報告したことがあって、「奈良開催の時はぜひ手づくりのバザーを…」と他のクラブから要望されています。

新年度も忙しくなりそうです。



牛乳パックを、同じ位置に底の面が来るように切り開き、36枚を組み合わせて、布のカバーを被せてつくった椅子。上にもってもピクともしない頑丈なすぐれものです。



今年手づくりグループが制作した主な作品



## カラオケ同好会

### 歌と踊りの打ち解けたお付き合い

2010年にスタートしたカラオケ同好会が、月1回、例会の後に生駒の「茶々」へ行くことに定着しました。何故か短い英語のスピーチから始まって、歌って、おしゃべりして、飲食して、みんなで歌って、またしゃべって、やがて踊り出す2~3時間。これほど無礼講で打ち解けたコミュニケーションの場はありません。歌わないでおしゃべりに来られる方も。初めての方、ぜひ覗いてみてください。



11月の例会会場で開いた秋のバザー。例会が始まるまでにほとんど売り切れました。

## 広報

### ネット時代へ 革新元年

2012年初、広報グループは従来の広報グループとホームページ（HP）グループが合併して新しい広報グループとしての一步を踏み出しました。

10年間、印刷し配布してきた従来の会報誌を廃刊し、FF奈良クラブのホームページに掲載することにしたしました。情報を出来るだけ早くお届けする「最新ニュース（ブログ）」と、渡航・受入れなど主要なイベントを特集した「ニュースレター（会報）」とで、パソコン画面で見ただけのようにいたしました。どうしても紙面でご覧いただきたいときは、個々にプリントアウトしていただくようお願いしました。

スマートフォンをはじめ携帯通信機器の急速な進化で、最近、米・有名雑誌が印刷誌を廃刊し、ネット上の供給だけに絞ったというニュースも聞かれます。情報のペーパーレス時代は確実に進行しています。

私たちのこの英断は、方向性としては決して間違っていないと信じていますが、初年度は試行錯誤の連続でお見苦しいこともあったことをお詫びいたします。新年度も、会員みなさんに馴染んでいただきやすい情報発信のあり方を模索いたしますので、どうか温かく見守り、ホームページを再三開けることを日常化していただいて、ご意見をお寄せくださることをお願いいたします。



FF奈良会員の年1回の親睦旅行は今回で3回目。もうすっかり定着して、待ち遠しいイベントになりました。今年は広島世界大会の後、総勢25名が宮島、大崎上島、竹原と、瀬戸内海のさまざまな美しい表情を満喫してきました。内輪だけになってリラックスしたところで、ちょっと羽目はずすのもこの旅行の楽しみの一つなのです。



日本三景の一つ、安芸の宮島は、放映中の「平清盛」ゆかりの地とあって賑わっていました。青い海に浮かぶ赤い大鳥居、厳島神社をはじめ史跡豊かな世界遺産の島を4グループに分かれて散策しました。

宿泊は大崎上島の小高い丘の上にあるきのえ温泉。ここの露天風呂から瀬戸内の島々の眺めはまさに絶景！夕日の美しさが有名ですが、秋の日はずるべ落とし、名残りの夕焼けだけ見られました。いよいよ宴会がはじまり、お抱え芸能プロダクションのおかげで爆笑の連続。



翌日は、安芸の小京都と呼ばれる竹原へ。江戸時代に良質の塩で栄え、酒造も盛んだったようで、当時をしのぶ町並が残っています。白い漆喰の壁、格子戸、竹細工、昔の郵便函なども。タイムスリップしたようなそぞろ歩きの中で、女性はずいぶん買物に引き込まれて予定時間オーバー。でもその価値はありました。



## 編集後記

2012年1年間の活動をAnnual Report 2012年号にまとめて発行することになりました。従来の会報誌を42号で終えて以来、久々の印刷情報です。その間、ホームページで活動ごとにいち早く、かなり詳細に、情報発信してきました。それを12ページに凝縮することは思ったほど簡単ではなく、出来事の順を追って記録した保存版にとどまりました。あとはみなさんの記憶でふくらませ、豊かな思い出のページにさせていただけたらと思います。

編集・発行 ザ・フレンドシップフォース・オブ・奈良 広報グループ  
事務局 〒630-8036 奈良市五条畑 1-20-16 TEL/FAX 0742-48-4334  
E-mail [holinonenara@kcn.jp](mailto:holinonenara@kcn.jp) HP <http://ffnara.web.fc2.com/>